

令和2年 新刊案内

高砂市男女共同参画センターでは図書の貸出を行っています。

お一人様2冊まで 期間は2週間です。



ぎゃくたいってなあに

著者：青木 智恵子

表紙のくまの先生のイラストが可愛いこの本は「虐待」についてとても分かりやすく書かれた本で、小学生の子どもでも読めるように工夫してあります。

お友達に起こった虐待について具体的な話が書いてあります。読んでいて、辛くなるかもしれませんが、子どもにも、大人にも読んで頂きたい本です。

人は誰でも幸せになる権利を持っています。もし、子どもがあなたに助けてと言ってきたら、信頼できる大人として、子どもが安全な場所にいられるよう協力してください。子どもの権利を守るのは、私達大人の役目です。

「ふつう」ってなんだ？ LGBTについて知る本

著者：特定非営利活動法人 ReB it

性の在り方は見た目だけではわかりません。男か女か単純に性別を分けられない人が日本には7.6%います。(40人の教室に約3人)「自分の性の在り方は、他の人と違うかも」と悩んでる子ども達がいいます。この本では、性を考える軸を紹介し、色々な性の在り方がある事を丁寧に説明してあります。実体験を語るインタビューも多く、具体的な話が多いのでとても理解しやすく、LGBTに関する疑問や不安に答える本です。全ての人々が自分らしさを大切に生きていくため、まずは知ることから始めませんか？



親になったの私だけ！？

漫画：ゆむい

原作：耳たぶ吸ってたも〜れ

子どもが生まれて親になった瞬間から、女性が仕事を続けていくこと、子育てと仕事を両立することは、簡単な事ではありません。

この本は原作者が「これから子育てをする後輩夫婦たちが、自分と同じ状況に陥って欲しくない。」という思いで書かれたものです。

そろそろ子どもが欲しいと思われるカップルの方、まずはパートナーと一緒にこの本を読んで、自分達の子育てをシュミレーションしてみてもどうですか？

当たり前ですが、
親になったのは、お父さん！あなたもです!!



発達障害サバイバルガイド

著者：借金玉

この本には発達障害を抱えた著者が、過去の失敗を踏まえて少しでもまともな生活を手に入れるために重ねてきた工夫が綴られています。やり方や道具、環境を変えて生きづらさを減らし幸せな生活を実現するための方法がたくさん書かれており、発達障害じゃなくても日頃生きづらさを感じている人達も読むと楽になるかもしれません。巻末に著者の「愛用品リスト」が載っていて参考になります。

